



# 礎 ishizue

三珠中学校校長室だより  
令和7年3月12日発行  
No.47 (卒業記念号)  
文責 校長 渡邊 康裕

三珠中HPIはこちら！



## 第64回卒業式、27名の巣立ち

3月12日(水)、第64回卒業式が行われ、卒業生27名が本校を巣立っていきました。授与した証書番号は3425号から3451号。歴史と伝統ある三珠中学校の卒業生に名を連ねました。ここ三珠中で学んだことを「礎」にして、新たなステージで活躍することを心より願っています。卒業、おめでとう！

### はなむけの言葉

義務教育修了の門出にあたって皆さんへ、はなむけの言葉として『凡事徹底』という言葉を送ります。『凡事徹底』とは、何でもないような当たり前のことを徹底的に行うこと、または、当たり前のことを究めて、他人の追随を許さないことなどを意味する四字熟語です。▼今年一月、日本人初のアメリカ野球殿堂入りを果たしたイチローさんは、日米通算四三六七安打、シーズン最多二六二安打と、今後、誰も届かないような大記録を打ち立てましたが、彼の根幹にあることが『凡事徹底』～『当たり前』のことを当たり前にするのではなく、人が真似できないほど『徹底的』にやるという事だそうです。▼ある日、イチロー選手に『今までに、これだけは、人に負けなくらいにやったな、といえる練習は何か？』を質問すると、こう答えたそうです。『僕は高校三年間、一日にたった一〇分ですが、寝る前に必ず素振りをしました。その一〇分の素振りを一年三六五日、三年間続けました。これが誰よりもやった練習です。』▼一日一〇分の素振り、素振りに限らず、何か他のことでもたった一〇分なら誰でもできそうです。しかし、それを一日も休むことなく、気持ちを込めてやり続けることは、決して誰にでもできる簡単なことではありません。イチローさんと言えば、こんな名言も残しています。『小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただ一つの道だと思っています。』まさに『凡事徹底』ですね。▼皆さんにも、何でもないような当たり前のことを人が真似できないほど、徹底的にやり続ける気概をもって、今後の人生を歩いていってほしいと願っています。その積み重ねが、必ずあなたのストロングポイントとなり、充実した人生に誘ってくれるはずです。▼心豊かで瑞々しい感性をもち、希望に満ち溢れた卒業生二十七名の前途に、幸多きことを願い、「はなむけの言葉」とします。

令和七年三月十二日

市川三郷町立三珠中学校

校長 渡邊 康裕



